

Press Release



7 . 5 . 9
水 産 課
内 線 2 6 1 8

御荘湾で発生した有害赤潮について

- 1 昨日(5月8日)の水産研究センターの赤潮調査において、愛南町の御荘湾の一部海域で、危険濃度(300細胞/ml以上)を超える493細胞/mlの有害プランクトン「コクロディニウム・ポリクリコイデス」が観測されました。
- 2 現段階では、この赤潮による漁業被害は発生していませんが、平成30年に宇和海の南部海域において、約3.8億円の漁業被害が発生していることから南予地方局愛南水産課及び水産研究センターでは、関係漁業協同組合等に対して
 - 漁場の監視を強化すること。
 - 魚類養殖では、餌止めや出荷作業を控えること。
 - 生簀の避難移動は、「赤潮被害対応マップ(H25県作成)」を参考に、適時・適切に実施することと呼び掛けています。
- 3 県としては、引き続き、水産研究センターで調査を継続するとともに、関係市町及び漁業協同組合との連携を密にして、迅速な情報提供に努めてまいります。

○本件連絡先

愛媛県農林水産部水産局水産課資源管理係

TEL 089-912-2618

担当者：中島兼太郎（内線2618）